

# 和地ひとみレポート No.418

令和3年第4回東大和市議会定例会 市立図書館地区館の指定管理者について  
導入に対する心配を払拭するだけでなく  
利用者に親しまれ、喜ばれる図書館を目指して



## ■地区図書館への指定管理者制度の導入

…11月30日から開催されている令和3年第4回市議会定例会の最終日(12月15日)の本会議で、来年度から導入される市立図書館の地区館の指定管理者についての議案についての議決が行われました。

…この議案は『東大和市桜が丘図書館及び清原図書館の指定管理者の指定について』というもので、来年度から導入する指定管理者制度(※公の施設をノウハウのある民間事業者等に管理してもらう制度)の受託事業者に関するもの。東大和市議会では、このような公共施設の指定管理者制度の受託事業者の選定の際は、本会議での議決に先立ち、内容をより詳しく検討するために、事務を所管する市議会常任委員会に付託します。

…今回の指定管理者の選定については所管する厚生文教委員会に付託し審査を実施。委員会の中では、多くの質疑が出て様々な点が確認されましたが、最終的には市が選定した事業者について賛成多数で可決されました。

…東大和市内には中央図書館のほかに桜が丘と清原に図書館の地区館があり、今現在は市の直営で運営されています。しかし、令和3年第1回東大和市議会定例会で議決された「市立図書館条例の一部を改正する条例」により、地区図書館(桜が丘図書館・清原図書館)に指定管理者制度をできる内容に条例が改正されました。それを受け、来年度から地区図書館に指定管理者制度を導入するために市は準備を進めています。

…地区図書館に指定管理者制度を導入するに至った理由についての市の説明は「隣接市の地区図書館の開館日時と比較して差があり(≒東大和市が少ない)、かねてから拡大の要望が市民等から出ていたが、厳しい財政状況から新たに人員や経費増が見込まれるため市の直営では難しいと判断。しかし、民間ノウハウを活用すれば可能との結論に至った」とのことでした。

…その後、この結論について教育委員会の承認を得て、パブリックコメントを実施。このパブリックコメントには30名の方から92件の意見が寄せられ、他のパブリックコメントと比較し、関心の高さがうかがえました。パブリックコメントの意見は、指定管理者制度の導入について賛否両論の内容でしたが、結果的に「市立図書館条例の一部を改正する条例」が議会で可決されたため、市は来年度から導入する地区館の指定管理者を公募し選定。その事業者について今定例会に議案として上程されました。

## ■選定された事業者は

…今回の指定管理者の選定については、今年の6月に応募書類を受付。4団体から応募があったとのこと。審査方法は、最初に評価項目ごとに採点を行い、一次審査通過団体を選定。その後、一次審査通過団体が指定管理者として運営する施設の視察を行い、二次審査では、事業者からのプレゼンテーションとヒアリングを実施。  
…以下の選定理由により事業者を選定したとのことでした。

### 【選定された指定管理者】

#### ◆株式会社図書館流通センター

応募者の提案内容のうち、評価された主な項目は以下のとおり。

- ①開館時間の拡大等による市民の利便性の向上や図書館サービスの向上に資することができること
- ②指定管理業務を行うにあたっての考え方が妥当であり、継続的かつ安定した体制での運営が望めること
- ③指定管理者として公立図書館運営の実績とノウハウを十分に持っていること
- ④専門的な従事者の安定した配置ができること
- ⑤学校やボランティア等との連携や市民の利用促進について、民間のノウハウを生かした具体的な事業提案を持っていること

#### ■株式会社図書館流通センターとは

…今回、選定された“株式会社図書館流通センター”は、1979年12月20日創業で資本金は2億6,605万円。事業内容は、今回、東大和市の地区館と契約をする図書館運営受託業務のほかに、図書館支援業務、図書館運営に関するコンサルタント業務も行っているほか、書誌情報データベース TRC MARC の作成・書籍販売も行っている企業で、“丸善CHIホールディングス株式会社”の事業会社です。

…この“丸善CHIホールディングス株式会社”には、このほか“丸善雄松堂株式会社”、“株式会社丸善ジュンク堂書店”、“丸善出版株式会社”、そして“株式会社hontoブックサービス”といった4つの事業会社が含まれており、いずれも出版、書籍関連の事業です。また、“丸善CHIホールディングス株式会社”は東証一部上場会社で、その大株主には大日本印刷株式会社(持株比率53.51%)のほか、株式会社講談社、株式会社トーハン、株式会社小学館と出版流通関連の企業が株主となっています。

(裏面に続く)

…そして、“株式会社図書館流通センター”は、令和3年5月現在、全国の図書館541館（指定管理者：382館、業務委託\*：146館、PFI\*：13館）の図書館受託実勢があるとのこと。多摩地域でも8市が同社を採用。近隣では立川市、青梅市などがあるとのこと。

\*業務委託：指定管理者制度は、施設全体の管理権限を委任する制度だが、業務委託は業務の一部を委託する制度。

\*PFI：民間企業が資金を投入し、その施設の整備から運営まで全てを企業が扱い、そのサービスを自治体が購入すること。

…一般的に、民間事業者等に一定期間公共施設の運営を任せる指定管理者制度では、その事業活動の質と共に安定性と継続性が強く求められます。よって受託事業者の経営基盤を確認することは重要です。前述のパブリックコメントでも「指定管理者が経営困難に陥ることはないのか」といった指定管理者の経営悪化などが東大和市の図書館運営に影響することを不安視する意見もありました。今回、選定された“株式会社図書館流通センター”については、同社の業績や財政状況、そして親会社の状況なども確認し、不安要素はないと市も判断したようです。

## ■指定管理者制度導入による課題解決点は

…地区図書館に指定管理者制度を導入するに至った理由は前述のとおり。よって、それらの理由＝課題が解決しなければ指定管理者制度の導入の意味はありません。…まず、開館日や開館時間の拡大については市の課題を受けて“株式会社図書館流通センター”からは、市の仕様書で示した内容以上の提案があり、来年度からはこの内容で開館日ならびに開館時間が拡大することとなりました。

### ◆市が仕様書で示した内容

#### 〈桜が丘図書館〉

午前10時から午後5時まで。

ただし、水曜日と金曜日は午前10時から午後7時まで。

※月曜日休館

#### 〈清原図書館〉

午前10時から午後5時まで。

※月曜日休館

### ◆株式会社図書館流通センターの提案内容

#### 〈桜が丘図書館〉〈清原図書館〉ともに

平日（※月曜日休館）は午前10時から午後7時まで。

土・日・祝日は午前10時から午後5時まで。

…この提案により、直営の現行の開館時間より、桜が丘図書館は8時間増／週、清原図書館は15時間／週となります。パブリックコメントでは、大学が終わって帰ってくると図書館が閉まっていることがあるので開館時間を延ばしてほしい意見が複数ありました。

来年度から指定管理者制度が導入されることにより、このような要望にも応えられると思います。

…また、経費の面についても削減できるとのこと。以下の通り、2つの地区図書館の現在の運営経費と比較して“株式会社図書館流通センター”は、年間約1,500万円削減できる見込みとのこと。

### ◆地区館2館の運営費（年額）

【市の直営】2億9,485万円

### 【株式会社図書館流通センターの運営費】

2億7,981万5千円

## ■より愛される図書館とすることが重要

…開館日時も拡大し、経費も削減できるとなると市の課題が解決でき、指定管理者制度の導入はメリットだらけのように感じますが、公立図書館は日本国憲法、教育基本法、社会教育法、図書館法などの法体系の中で位置づけられる社会教育施設。市民が文化的な生活を送るうえで重要な施設であり、地域住民の知る自由を保障し、教育・教養・文化の発展を支え、市民の生涯学習を進めるうえでも重要な施設という点の維持、向上が最も大切なポイントです。

…パブリックコメントでも指定管理者制度の導入を不安視する意見もあり、“株式会社図書館流通センター”はそれら不安点に対する方策についても提案書の中で示しています。

### 【パブリックコメントでの主な問題点と課題点への対応】

#### ◆利益を追求することによる労働環境の不安定さはないか

→人事制度・福利厚生制度の整備を行っている

#### ◆図書館サービスの低下の懸念（サービスレベルは継続するのか、貸本屋になってしまわないか）

→専門部署による体系的な研修を実施する

#### ◆個人情報保護が適切にまもられるのか

→定期的な研修と内部監査の実施を行う

#### ◆ボランティアとの協力関係を維持してほしい

→ボランティアとの協働は継続する

#### ◆選書・除籍・レファレンスへの懸念

→直営の中央図書館と連携して行い、中央図書館の判断を仰ぐ

…“株式会社図書館流通センター”から提出された50ページにも及ぶ提案書の最初には、東大和市の第三次基本構想を踏まえたスローガン「笑顔でつながる『私たち』の図書館」が提示されています。運営方針や提案内容では魅力的なものも多く示され、来年度からの運営に期待を寄せるところですが、この提案内容を実現するためには市と事業者のスタッフならびに利用者との信頼関係の構築が必要。効率以上に質やサービスがメリットと言われる地区図書館の実現を望みます。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

## 【プロフィール】「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。/「学校」の外一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク（※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換）に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。/『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在3期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。



東大和市 市議会議員

和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP: <http://www.wachi1103.jp>

✉ [wachi\\_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp](mailto:wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp) 【電話・FAX】042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102